

## 10 農業・工業・商業・水産・看護・福祉

☆各教科における  
「見方・考え方」

## 農業



農業や農業関連産業に関する事象を、安定的な食料生産と環境保全及び資源活用等の視点で捉え、持続可能で創造的な農業や地域振興と関連付けること。

## 工業



ものづくりを、工業生産、生産工程の情報化、持続可能な社会の構築などに着目して捉え、新たな時代を切り拓く安全で安心な付加価値の高い創造的な製品や構造物などと関連付けること。

## 商業



企業活動に関する事象を、企業の社会的責任に着目して捉え、ビジネスの適切な展開と関連付けること。

## 水産



水産や海洋に関連する事象を、漁業生産や船舶運航、海洋工学、情報通信、資源増殖、水産食品の製造や流通、海洋の環境保全や活用などの視点で捉え、地域や社会の健全で持続的な発展と関連付けること。

## 見方・考え方を意識して指導する

「見方・考え方」は、「各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすもの」です。商業科を例にその重要性について考えてみましょう。

商業の「見方・考え方」は「**企業活動に関する事象を（中略）ビジネスの適切な展開と関連付ける**」とされ、様々な事象を「**企業側**」から捉えることが求められています。

例えば、「電子決済」について学ぶ単元で、ある生徒の授業後の振り返りの記述が次のようなものであったとします。

電子マネーのいいところや問題点が分かりました。  
今使っている電子マネー以外にも試しに使ってみたいです。



この生徒は「**消費者側**」として授業内容を捉えており、教科を学ぶ本質である商業の「見方・考え方」（企業側から捉える）から離れています。「何のために商業を学ぶか」が把握できていなければ、この単元の目標はもとより、教科・科目の目標の実現も難しいでしょう。

それでは、振り返りの記述がどのようなものになっていけば、生徒が商業の「見方・考え方」を働かせたと言えるのでしょうか。例えば、次のような記述が考えられます。

事業者や消費者にとってのメリット・デメリットが分かりました。私が社長だったら、どの電子マネー決済を店舗に導入するかを考えていきたいです。



生徒が教科・科目を学ぶ「本質的な意義」の部分を読み外すことがないよう、教員は各教科の「見方・考え方」を意識した学習指導を心掛けていきましょう。

## 《 他の例 》

- ・ 共通教科「情報」と専門教科「情報代替科目」の違いは？
- ・ 共通教科「家庭」と農業科「食品製造や食品流通の分野」の違いは？
- ・ 共通教科「美術」と工業科「デザイン分野」の違いは？ など

## 見方・考え方を具体化してみよう

自身の教科の見方・考え方を具体化し、どのようにものごとを捉えられるか整理してみましょう。

商業の例：採算性（コスト、利益等）、利害関係者（株主、経営者、顧客等）、社会情勢、CSR等

## 思考・判断・表現の活動において見方・考え方を意識する（令和6年度高等学校教育課程研究会研究報告より）

①科目名：「ビジネス基礎」（商業科）

②単元名：企業活動の基礎

③単元の目標：

企業の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に関する知識などを基盤として、企業活動の動向など科学的な根拠に基づいて、企業活動の展開について、組織の一員としての役割を果たすことができる。

④見方・考え方の具体化：

- ・「組織の一員」…経営者、中間管理職、従業員などの視点
- ・「役割を果たす」…役割に応じた「働くやりがい」という視点

⑤単元を貫く問い：

企業における組織の一員としての役割を全うすることからくる「やりがい」は、役割によってどのような違いがあるだろうか。



身近な大人へ  
インタビュー



インタビュー  
結果のプレゼン  
テーション



全クラスメイト  
のスライド資料  
を参照した上で、  
レポート作成

・教科書内容に基づく質問  
〇〇社は職能別組織の組織形態を採用しているみたいですが、□□さんは中間管理職としてどのように他部署と連絡調整を行っていますか？

・単元を貫く問いに基づく質問  
□□さんは中間管理職としてどのようなときにどのようなやりがいを感じますか？

### 看護



健康に関する事象を、当事者の考えや状況、疾病や障害とその治療等が生活に与える影響に着目して捉え、当事者による自己管理を目指して、適切かつ効果的な看護と関連付けること。

### 福祉



生活に関する事象を、当事者の考えや状況、環境の継続性に着目して捉え、人間としての尊厳の保持と自立を目指して、適切かつ効果的な社会福祉と関連付けること。

## ☆神奈川県産業教育審議会「地域や社会の持続的な発展を担う産業人材育成のあり方について」報告（令和6年11月）

本県の専門高校及びデジタル社会の実現に向けた人材育成に関する現状と課題を踏まえた全体の方向性や、各専門学科の現状と課題を踏まえた今後の教育の方向性が示されている。



[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/senmon/2022-2024kennsannshinhou\\_ukoku.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/senmon/2022-2024kennsannshinhou_ukoku.html)